

黒部市民病院 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善計画（R8年度）

1 医療技術員等との業務分担

（1）薬剤師

1. 病棟での服薬指導、持参薬管理や病棟配置薬の薬剤管理を担うことにより、看護師の負担を軽減する。
2. 薬剤の効能効果、用法用量など最新情報が、電子カルテ上で迅速に閲覧できるようマスターデータを適切に管理する。
3. がん化学療法レジメンの作成・管理業務を行う。患者指導を実施し、投与量変更や副作用に対しての支持療法を積極的に医師に提案を行い、看護師の負担を軽減する。
4. 疑義照会簡素化プロトコルを運用し、院外処方の調剤上の典型的な変更に伴う疑義照会を減らすことにより、看護師の負担を軽減する。
5. 積極的に抗菌薬治療に介入し、抗菌薬処方の提案を行い、看護師の負担を軽減する。

（2）臨床検査技師

1. 中央採血室、健診、早朝病棟に出向き採血を行うことで看護師の負担を軽減する。
2. CPAP療法導入が決定した患者に、詳細説明を実施し、看護師の負担を軽減する。

（3）診療放射線技師

1. 各検査に関する問い合わせや、患者への検査説明を可能な限り行う。

（4）臨床工学技士

1. 医師の指示に基づき、各種機器のチェック、機器操作、機器のトラブル対応を行い、看護職員の負担を軽減する。
2. 医師の指示に基づき、透析における穿刺、止血、処置介助等を行い、看護職員の負担を軽減する。
3. 医師の指示に基づき、医療機器を使用した治療において、可能な限り患者説明を行い、看護職員の負担を軽減する。
4. 医療機器の使用及び医療器械を使用した治療において、可能な限り機器の操作方法等の説明を行い、看護職員をサポートする。

（5）管理栄養士

1. 医師の指示に基づき、摂食不良がある患者に対し、安全な栄養管理を行い、看護職員の負担を軽減する。
2. 医師の指示に基づき、特別食患者への栄養指導を積極的に行うことで、看護職員の負担を軽減する。

（6）リハビリテーション技師

1. 入院リハビリでは患者のリハ室送迎を行い、看護職員の負担を軽減する。
2. 休日のリハビリを増やし、看護職員の負担を軽減する。

（7）事務職員等

1. 相談支援や関係機関との情報共有・連携を行い、看護職員が患者・家族の状況を理解した上で治療に専念できるようサポートする。

（8）その他の職種等

1. 多職種が協力し、感染対策チームや栄養サポートチーム、口腔ケアチーム等を編成して医療へ積極的に関わり、看護職員の負担を軽減する。
2. 看護師OB等を活用し、多様な看護関連業務を担い、看護職員の負担を軽減する。

2 病棟クラーク

1. 内科外来にクラークを配置し、看護職員の負担の軽減を図る。
2. 病棟クラークを各病棟に配置し、看護職員の負担の軽減を図る。

3 看護補助者

1. 病棟に配置する看護補助者を増員し、看護師にかかる負担の軽減を図る。
2. 外国人特定技能制度を利用し、看護補助人材の一層の確保に努める。
3. 夜間に勤務できる看護補助者の確保に努める。

4 多様な勤務体制の運用

1. 3交代勤務、変則2交代勤務、早出、遅出など、多様な勤務体制による運用を実施する。

5 子育て中の看護職員に対する配慮

1. 院内保育所を運用しており、出産後の職場復帰や育児中の看護職員の業務継続を支援する。
2. 子育て中の看護職員の負担軽減として、部分休業や育児短時間勤務に対応する。
3. 病後児保育を実施する。

6 その他

1. 看護職員の増員に向け、奨学金の創設や官舎の提供など継続的に確保に努める。
2. 病院賠償保険に加え看護師賠償責任保険に加入し、医療事故等に迅速に対応するための顧問弁護士の活用など、医療リスクに対する支援体制を充実する。
3. 院内に設置した保育所を適切に管理・運営し、育児を抱える看護職員の就業を支援する。
4. IT化を推進し、看護業務の効率化、合理化を図る。
5. 当院の長所、短所、職員の意欲を可視化することにより、問題点を明らかにし、運営を改善していく。
6. 出退勤管理システムを利用し勤務状況を管理する。

7 役割分担推進のための委員会

1. 役割分担推進のための委員会は「役割分担推進委員会」とする。
2. 当計画の実施状況等について、年3回以上委員会に報告し審議を行う。
3. 参加職種は医師、看護師、医療技術員、事務職員とする。

8 計画達成の目標年度

令和8年度

令和8年4月1日策定